

参加費
無料

加工技術の課題、 残留応力評価で 解決してみませんか？

オンライン開催

9月29日（水）
13:30～15:30

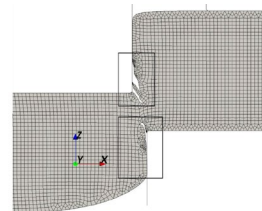
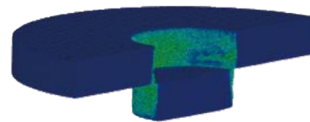
定員：50名
〆切：9月27日

〔次世代自動車研究会事業〕

残留応力の 見える化セミナー

構造部材を加工や熱処理をすると、**残留応力が内部に蓄積し**
後工程で**割れや変形を引き起こす要因**となります。

本セミナーでは、「**残留応力の見える化**」をテーマに、**事例紹介**
や**装置紹介**を通じて、自社の課題解決のヒントをご紹介します。



高張力鋼板のせん断加工解析

〈基調講演〉 13時35分から14時20分まで 自動車用高張力鋼板に伴う残留応力測定とその展開

講師：鳥取大学 工学部 機械宇宙工学専攻 准教授 松野崇氏



残留応力に伴う遅れ破壊

講師略歴

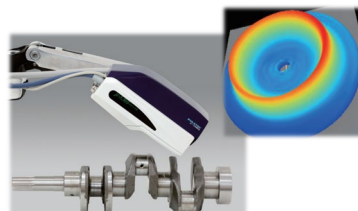
2005年 新日本製鐵株式会社（現日本製鐵株式会社）
加工技術研究部 研究員

2016年 鳥取大学工学専攻 准教授



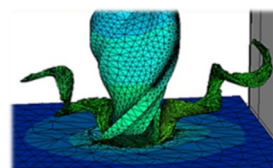
〈話題提供①〉 14時25分から15時まで X線残留応力測定の実験と測定事例紹介

講師：パルステック工業株式会社 技術部 主査 内山宗久氏



〈話題提供②〉 15時から15時30分まで 産業技術センターにおける残留応力見える化支援と実演紹介

講師：鳥取県産業技術センター 機械素材研究所
機械・計測制御グループ 主任研究員 佐藤崇弘
無機材料グループ 主任研究員 松田知子



【問い合わせ先】

鳥取県産業技術センター 機械素材研究所 佐藤、松田
TEL 0859-37-1811



地方独立行政法人
鳥取県産業技術センター
Tottori Institute of Industrial Technology

講演概要

<基調講演> 自動車用高張力鋼板に伴う残留応力測定とその展開

自動車用1180MPa級超高張力鋼板のカップ絞り品における残留応力測定とその予測事例を紹介いたします。さらに、せん断切り口における遅れ破壊耐性と残留応力との関係を調査した事例についても紹介します。

<話題提供①> X線残留応力測定の実験と測定事例紹介

部品開発には、安全性、軽量化、高燃費を目的とした技術進化が日々行われています。そのためには、材料強度や寸法精度、耐久性の向上が必須となり、悪影響を与える要因の一つとして残留応力があります。残留応力測定をより簡単に高速に測定する技術と様々な活用事例を紹介します。

<話題提供②> 産業技術センターにおける残留応力見える化支援と実演紹介

シミュレーションによる残留応力評価ソフトの紹介と併せて、実際の製品を使った残留応力測定の実演を行います。

申込方法

〆切：9月27日

※Cisco Webexで配信します

◎センターHPの申込フォーム

<https://www.tiit.or.jp>

◎メールの申込先

tiit-info4@tiit.or.jp

◎FAXの申込先

0859-37-1823

【参加までの流れ】

①オンラインセミナーの申込

ホームページ、メールまたはFAXでお申込をお願いします。

②受付完了メールの受信

オンラインセミナー受付完了メールを申込者に送信します。

③参加用URLの受信

開催日の前日までに参加用URLをメールにてお送りします。

④アンケートのお願い

講演終了後、メールにてアンケートを送付します。

- 参加申込書 -

企業名		
所在地	(〒 -)	
電話	() -	
参加者①	名前	
	所属・役職	
	E-mail	
参加者②	名前	
	所属・役職	
	E-mail	

【問い合わせ先】

鳥取県産業技術センター 機械素材研究所 佐藤、松田

TEL 0859-37-1811



地方独立行政法人

鳥取県産業技術センター

Tottori Institute of Industrial Technology